

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I IV V 】
2 実施対象者	学校名 香取市立小見川北小学校 対象学年 全学年 人数 208名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合) ② 行事名 (校内マラソン大会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる。また、オリンピック、パラリンピックへの理解を深める。 ○他国の文化、言語について学ぼうとする気持ちを育て、異文化への理解の促進を図る。
5 取組内容	<p>【校内マラソン大会におけるトップランナー招聘】</p> <p>スポーツプロジェクトとして、12月に行われた校内マラソン大会のゲストティーチャーに本校卒業生のマラソンランナー（内野雅貴氏 現ミズノスポーツ 箱根駅伝3回出場）を招聘し、児童との交流を深めた。全レースの先導を走り、児童を励ましてくれた。</p> 

マラソン大会後の講演では、夢の実現に向けて目標をもつことの大切さを語っていただき、保護者・児童ともに感銘を受けた。



【オリンピック学習】

スポーツプロジェクトとして、各学級でオリンピックの歴史を学ぶ機会を設けた。発達段階に応じて、各種資料やインターネットを用いたり、オリパラ関係のビデオを視聴したりして学習した。

【オランダ語学習】

グローバルプロジェクトとして、簡単なオランダ語 (※) について、資料を用いて学習した。

※香取市小見川地区を流れる黒部川でオランダチームがオリンピック事前キャンプを行う予定。

【福祉教育を通しての障がい者理解】

心のバリアフリープロジェクトとして、体験活動や訪問活動を通して、障がい者、高齢者等への理解を深め、共生社会の形成を目指して他者を理解しようとする心を育てた。

- ・車いす、ブラインドウォーク体験活動（5年生で実施 11月29日）



- ・福祉施設への訪問活動（5年生で実施 12月8日）

※於 介護老人保健施設おみがわ



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツプロジェクトの実施により、生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる手立てとなった。 ・オリンピック、パラリンピックへの理解（歴史、内容など）が深まった。 ・一流アスリート等の話を聞き、触れ合うことでスポーツへの意欲が高まった。 ・心のバリアフリープロジェクトの実施により、障がい者、高齢者等、他者の理解を深める手だてとなった。 ・パラリンピック競技についての学習及び体験を通じて、障がい者への理解が深まった。 ・福祉施設への訪問活動を通して、障がい者、高齢者等への理解が深まった。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>スポーツプロジェクトにおいては、校内マラソン大会で本校出身のアスリートを招聘することで、子供たちの興味関心を高めることができた。</p> <p>心のバリアフリープロジェクトとして、実際に車いす等を用いた体験活動や地域の保健施設を訪問することで、障がい者、高齢者への理解を深めることができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>低学年児童の興味関心がより一層高まるオリンピック・パラリンピック教育プロジェクトを、より充実させていきたい。</p> <p>心のバリアフリープロジェクトとして、車いすやブラインドウォーク等の疑似体験活動を、全学級で取り組んでいきたい。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>スポーツプロジェクトにおいて、パラリンピック関係のアスリートを招聘することで、子供たちの興味関心を高めていきたい。</p> <p>グローバルプロジェクトとして、オランダ語の簡単なあいさつ、応援等ができる学習を、更に深めていきたい。</p>